



子どもたちに素敵な褒め言葉を

校長 佐藤 邦彦

【素敵な褒め言葉】

朝、できる限り校門に立って子どもたちと挨拶をしています。元気よく挨拶をする子がたくさんいます。返事をしない子や小さな声の子もいます。気にせず、笑顔と元気な声で挨拶を続けていると、次第に素敵な挨拶が返ってくるようになり、とても温かな気持ちになります。一人一人が喜び、悲しみ、心配事などを抱えながらも返してくれる挨拶を聞くと、「良い声だね、元気が良いね。」と誉めたくになります。

世界的なソムリエ、田崎真也さんの話を聞くことができました。私たちはワインを飲んだり、ご馳走になったりしたときに、「飲みやすく、とてもおいしいですね。」と感想を言うてしまうことがあります。しかし田崎さんは、「飲みやすいというのは、ワインにとって誉め言葉ではありません。ワインには個性があって渋みや酸味や香りなど、それぞれ主張するものが違っているところに素晴らしいさがあり、飲みやすいという言葉で簡単に片付けてほしくはないのです。」と話した後、「子どもたちも同じですよね・・・。」と話されました。

私たちは、大人の都合で「元気な声」だけを評価していないのかなど、振り返ってみました。子どもたちにとっては必ずしも得た褒め言葉ではないかもしれませんが。声の小さい子も、笑顔だけの恥ずかしがり屋さんも一人一人の個性、主張と考えることも必要かと考えます。子どもたちのよさを具体的に評価し、認め、素敵な褒め言葉をかけてあげるのが大人のつとめではないでしょうか。

人を褒める効果は、褒められた側にも褒めた側にも発揮され、脳の活性化やより良い人

間関係の構築にも役立ちます。

【人間力を磨くヒント】

人は、技術と人間力の両方を磨き続けることで、それを能力として人に役立てて、自分が生まれてきた意味を自ら作り出していくことだと思います。人間力を磨くとされるいくつかのヒントを挙げてみます。

- ・短所を改善し、長所に変えること
- ・長所を伸ばし、絶対的な信頼を得ること
- ・外見・内面、両方を磨いていくこと
- ・良い本を読み、考えること
- ・向上心のある人間と付き合っていくこと
- ・自分に厳しく、努力を惜しまないこと
- ・他人の出来事を自分の出来事として考えてみる
- ・理解できるまで耳を傾けること
- ・苦しいこと、困難なことを乗り越えること
- ・人の笑顔のために働くこと

以上のように、人間力を磨くと言っても、意外と重要なのは他の人にどのように関わるかであったり、自分一人ではできないものが多くあったりすることに気がきます。

人間力は、学校で勉強する国語や算数などの勉強ではなく、忍耐力、社会性、感情のコントロール力を指します。子どもたちが興味をもって観察したり、何かを触って感触を楽しんでいたり、集中して何かに夢中になったりしたときに「とことん付き合う」気持ちが必要になります。

子どもたちが、多くの友達や先生、保護者、地域の方々と触れ合い、学び合いながら自分自身の能力の向上、技術の向上、人間力の向上を図っていくことを願っています。





離任のあいさつ～お世話になりました～



広い校庭でだれとでも一緒になって遊ぶ子どもたち、麦や畑の作物で学習を深められる環境など、今まで自慢してきた松中小を離れることになり、とても淋しい思いです。在任中は、保護者の皆さん、地域の皆さんにご支援いただき、心より感謝申し上げます。これまでと変わらず、松中小を支えていただきますようお願いいたします。
(福原 憲生校長先生)

松中小では6年間お世話になりました。この6年間、保護者や地域の皆様に支えられ、元気いっぱい子どもたちに囲まれ、とても楽しく充実した毎日でした。楽しかった思い出が溢れ、名残惜しい気持ちです。心より感謝しております。松中小学校で学んだことを新しい学校でも発揮していきたいと思います。これからは、松中小の子どもたちの応援団として陰ながら見守っていききたいと思います。どうもありがとうございました。
(飯塚 陽志恵先生)

みなさん、お久しぶりです。私は今、東久留米第五小学校という学校で過ごしています。松中小学校では7年間を過ごしました。7年間の間に、たくさんの人と出会い、楽しいこと、うれしいことを経験させてもらいました。みんなと過ごした時間は私の宝物です。ありがとうございました。これからも、松中小学校のみなさんのますますのご活躍をお祈りします。

(幸島 民恵先生)

松中小学校で7年間、お世話になりました。この3年間は起業家教育を高学年児童と取り組んできました。松中小学校の子どものあふれるパワーに背中を押されつつ、地域の方々や保護者の方ご支援で、有意義な活動ができました。コミュニティースクールとして出発した松中小学校で仕事できたことは私にとって大きな財産です。7年間、ありがとうございました。

(浅見登志子先生)

松中小学校の子どもたちと過ごした時間は、私の大切な思い出です。いつも一生懸命に取り組むみなさんの姿に元気をもらっていました。これからもみなさんの明るい笑顔がたくさん見られますように。自分と仲間を大切に、元気に過ごしてください！保護者の皆様、地域の皆様、職員の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。

(宮下和子先生)

6年間の長い間、お世話になりました。この6年間は、キラリの子たちだけでなく、運動会、音楽会、移動教室など、たくさんの行事で松中小の子供たちにかかわることができ、とても楽しい思い出を作ることができました。これからは、松中小で何事も一生懸命取り組み、友達と仲良く過ごし、学んでいってください。ありがとうございました。

(井戸川陽先生)

松中小には平成31年4月に着任しました。始めは不慣れで戸惑い、2年目はコロナ禍で変化の日々でした。3年目、皆様ともなじんで仕事もスムーズに回るようになったところでの異動となり、とても寂しいです。次の九小で、新たな気持ちでがんばります。短い3年間でしたが本当にありがとうございました。

(市事務：三村瑞枝)